

# 3月定例会

3月定例会は、3月7日から14日までの8日間（実質6日間）の会期で開かれました。

定例会初日は、町長の町政執行方針と教育長の教育行政執行方針が示されたあと、一般質問が行われました。

また、行政から提案された議案45件のうち各会計補正予算等9件を審議し、可決して翌日に延会しました。

定例会2日目は、補正予算案等6件を審議し可決。平成25年度各会計及び予算案等を審議するための「予算等審査特別委員会」を設置し、関連議案等31件を付託しました。

予算等審査特別委員会では、平成25年度一般会計、各特別・企業会計など、合わせて9会計と予算に関連する議案22件について集中審議を行いました。

最終日の14日には町長総括質疑のあと、付託された議案は本会議で全て原案通り可決しました。

また、副町長を選任する同意案1件、発議案1件、「地方財政に関する意見書案」等2件も可決しました。

2億650万円

観光交流センター設計委託料など

地域の元気臨時交付金を活用



北海道が整備する駅前広場とともに、町の事業も本格化するJR木古内駅前地区

●一般会計 歳入歳出の補正予算は、2億1122万円を追加し、総額を47億3077万円にしました。

歳出の主なものは、平成25年度の計画を前倒して実施する町道双葉線改良舗装工事1500万円や、地域の元気臨時交付金を活用し前倒して実施する観光交流センター実施設計等業務委託料1650万円、まちなか公園整備工事7900万円等となっています。

## 一般会計の主な補正（歳出）

追加補正分	減額補正分
◎観光交流センター実施設計等業務委託料 1,650万円	○物品保管倉庫建築工事等 △437万円
◎まちなか公園整備工事 7,900万円	○子ども手当 △345万円
◎観光交流センターアクセス道路整備事業用地購入費 5,400万円	○予防接種関係等 △100万円
◎観光交流センターアクセス道路備事業移転補償費 5,700万円	○大平栗山支線開設工事等 △242万円
○臨時職員退職功労金 1,141万円	○御宮野地区落石防護柵設置工事等 △839万円
○障害者介護給付・訓練等給付費等 902万円	○まちなか公園支障物件解体工事 △340万円
○町道舗装修繕事業舗装点検業務委託料 100万円	○木古内駅周辺整備事業用地購入費 △180万円
○町道管理委託料等 431万円	○駅周辺整備事業支障物件移転補償費 △2,610万円
○重機借上料 822万円	
○町道双葉線改良舗装工事 1,500万円	

◎は地域の元気臨時交付金です。

補正予算

繰越明許費事業  
年度内の実施予定は

竹田議員 観光交流センター

ターアクセス道路の整備事業に係る用地購入や移転補償費等は、全て繰越明許費となっていますが、年度内に予算執行で

きる部分はないのですか。新井田まちづくり新幹線課長 当初は、平成25年度に事業実施を予定していましたが、国の大型補正の関係で今回計上しました。全てを繰り越して、4月以降順次、事業を実施していきます。